



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行
釧路市連合町内会
釧路市幸町3丁目3番地
釧路市観光国際交流センター内
電話 0154-23-5151
内線 6716
FAX 0154-23-2101

地域福祉フォーラム 2015

地域で減災！あなたが力 みんなが力

2月10日釧路市生涯学習センター2階多目的ホールで、釧路市社会福祉協議会・釧路市連合町内会・釧路市民生委員児童委員協議会の共催で、地域福祉フォーラムが開催されました。講演の一部を紹介いたします。

釧路市社会福祉協議会 地域福祉課係長 博田 秀治



講師

東京 YWCA 東日本大震災被災者支援プロジェクト長

池上 三喜子氏

今年の「地域福祉フォーラム」は、「防災」ということで、講師に池上三喜子氏を招き、地域力を最大限に生かした減災対策について話して頂きました。

自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」について触れられ、平常時から、「自分でできること」、「家族でできること」、「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、備えておくことが大切であると話されておりました。

また、最後には、災害時対応シミュレーションとして、いくつかの例をあげられました。

例えば、あなたは避難場所の食糧担当、被災から数時間たちました。避難場所には650名が避難しています。そこへヨーグルトが100個届きました。次の食糧はいつ届くか全くわかりません。まず100個のヨーグルトを配りますか？配りませんか？といったような問いがあり、参加者全員で考えました。

今回の講演の中で特に、印象に残ったこと

は、日頃からの近隣関係が災害時に最大の力を発揮するということです。

講師は、『人は優しいし、自分や家族が守れたら「隣近所は大丈夫かな？」と、絶対思う』。日頃から挨拶を交わし合う、町内会行事などを通して仲良くするというような関係づくりが重要であると話されました。

災害が起これば誰か助けてくれるだろうと思っても、近隣での関係は一朝一夕では構築されないのです。



確かに、近隣で気にかけてくれるかもしれませんが、親密度によって助ける順番が違って来るかもしれません。（親しくない隣さんよりも、少し遠くても親しい人を先に助けに行く）。

今日からでも向こう三軒両隣、何かあった時に助け合える地域づくりをしていきませんか。

春採下町地区連・市連町懇談会 開催 創立 50 周年に向け 連携・協力

春採下町地区連合町内会と市連町役員との地区懇談会が 2 月 21 日（土）、春採下町会館で、地区連 12 名・連町 8 名が参加し開催されました。

地区連庄司会長は、自由な懇談をし、創立 50 周年記念事業を迎え地域活動にも参考としたいと挨拶、市連町西村会長は加入促進への地域協力、市連町創立 50 周年記念事業にもご意見を伺いたいと挨拶し開会しました。

懇談では、市連町創立 50 周年記念事業計画案が示され、今後、理事会・総会を経て計画を進めるとの報告があり、玉入れ大会には多くが参加し盛り上がるのが期待されます。

町内会員の会費について、街灯費のみを負担する会員のあり方、金額にも多くの意見が出されました。



加入戸数調査の加入率の算出方法では、住民基本台帳による方法や国勢調査による方法があり、今後検討して方針を決定していく事が話されました。

平成 26 年度の総括や、学生等若い方々への町内会活動の啓発事業の報告があり、今後に期待される声がありました。

第 40 回 釧路市連合町内会子どもかるた大会 ～～ 仲間と共に力を合わせ 正々堂々 ～～

第 40 回を迎える釧路市連合町内会子どもかるた大会が、2 月 22 日（日）湿原の風アリーナ釧路で 89 チーム 271 名が参加し、熱戦が繰り広げられました。



チームワーク良く選手宣誓する 阿寒の星チーム



大会は多くの父母の見守る声援の中、選手たちは読み手の声に集中し、互いに励まし合い、力を合わせ最後まで真剣な表情で木札を追っていました。

子どもかるた大会成績（所属・チーム名） 2015 年

	小学生低学年の部	小学生中学年の部	小学生高学年の部	中学・高校生の部
優 勝	松浦 影松	松浦 雨松	松浦 錦松	桜ヶ岡 龍夜
準優勝	芦野 あしの椿	新陽 KA	阿寒湖 湖神	阿寒 阿寒の龍星
第3位	新陽 雲井	武佐 神武	阿寒 阿寒の星	
第4位	昭和中央 人をも	昭和中央 ディズニー	中徹別 楽天の業火	

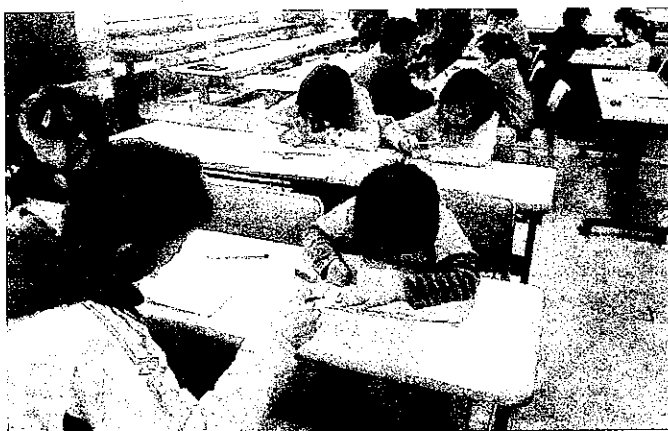
声かけて、田、は、会、を、店、に、し、て、

たくさんの「できた」がある！くしろ子ども未来塾の取り組み

釧路市内3館のコミュニティーセンターでは月に一度、管理する（株）セントラルビルサービスさんの自主事業で「くしろ子ども未来塾」が行われています。ここには毎回100人を超す子どもたちが集まり、学習や運動、文化活動に真剣に取り組んでいます。

3月1日（日）コアかがやきで行われた未来塾では、くしろ子ども未来塾サポーターズの皆さんがボランティアで基礎学力向上のサポート、体力づくり教育、文化教育、家庭教育の支援、健康講座などが行われていました。

学習サポートでは国語、算数、英語など現職の教員や塾講師などがわかりやすく教え、体力づくり教育では、鉄棒や飛び箱、エコ弓矢などで、体力づくりに挑戦。また、文化教育ではお琴、華道、茶道、合唱、日本舞踊、フラワーアレンジ、絵画、書道など、それぞれの分野で活躍する講師が丁寧に指導し文化



教育が行われていました。

参加していた子どもたちは算数の問題が解けた喜び、飛び箱が飛べた喜びなど、たくさんの「できた」喜びで笑顔いっぱいでした。

こうした取り組みに対し、町内会では町内の子どもたちに利用券を配布するなど支援を始めるところもあり、地域が一緒に子どもたちの教育を行う場として、今後の更なる発展に期待が寄せられています。

わが街この街
シリーズ 59

～～ いきいきサロンで絆づくり ～～

緑ヶ岡6丁目東部町内会 会長 中島 義輝

当町内会は名称通り緑ヶ岡6丁目の東部に位置しており、武佐小学校と青陵中学校に近く貝塚通りに面してスーパー、ドラッグストア、コンビニ、内科・歯科・動物の各病院、コインランドリー等もあり、防犯としての環境や利便性も大変良くなっております。

当町内会は来年50周年を迎え、記念行事を通じて、この歴史の重みを後継者の方々にしっかりと受け継いでいきたいと思います。また、今年は「いきいきサロン」発足10年になります。発足当時は他のサロンの状況が全く分からず大変苦労しましたが、釧路市社会福祉協議会の研修会などを通じ、力強い援護もあり実施することができました。今では町内会の重要な事業の一つとなっております。年に6回開催し、1月・5月・9月は映画会、3月・7月・11月は食事会を行っています。

映画会は主に釧路を題材とした映画を上映。食事会は研修会と芸能発表を行ったあと、女性部、福祉部の担当で食事を用意し交流を深めています。「いきいきサロン」は町内の高齢者の方々の「楽しみの場」となっており、欠くことのできない事業で、今後もマンネリ化しないよう工夫しながら開催していきたいと思えます。



1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。
 1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。
 1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。
 1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。
 1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなでつくろう ゴミのないまち きれいなふるさと

町内会活動保険の加入を！！

平成 27 年度「町内会活動保険」の加入申し込みを始めています。

町内会活動中の傷害や賠償事故に対応しています。安心して町内会活動を進めるため、是非ご加入をお勧め致します。

- 申込受付 4月1日～5月8日
- 保険機関 6月1日から1年間
- 負担金 1戸60円/年
- 保険金額

傷害～死亡・後遺障害 100 万円、

入院 1,000 円/日、通院 500 円/日

賠償責任～1 億円まで（免責 1,000 円）

新しい回覧板できました

A4サイズが入る二つ折りタイプのコンパクトな回覧板（消費者被害防止啓発用）が出来ました。4月6日から配布可能となります。

（従来の A4 サイズもあります。）

ご希望の際は、市連町事務局又は市民生活課でお受け取り下さい。

LED 灯導入補助金制度が拡充

LED 灯の新設、取り替えに対する補助上限額が本年 4 月から一部変わります。

補助金額は、1 灯につき、一括払いでも分割払いでも 7,200 円を上限として補助されます。これまで一括払いの上限額は 1,440 円でした。街路灯の LED 化が取り組み易くなります。

事前に申請が必要です。釧路市市民生活課直通電話 31-4590 へご連絡下さい。

5 月 25 日（月）から

市連町事務局は市役所本庁舎へ

市役所防災庁舎完成に伴い、市連町事務局は市役所本庁舎 2 階に移転いたします。観光国際交流センターでの業務は 5 月 22 日（金）までです。ご留意願います。

今日明日

極楽と地獄の違いはわずかに一つだけだ、ご存知でしょうか。

どちらにも「馳走がいっぱい入った、とてもとても大きな鍋があります。そして全員がとてもとても長い箸をもっています。」

地獄にいる人は箸が長すぎて使うことができず、結局全員飢えています。ところが極楽ではその長い箸を使って、向かい合った人同士が互いの口元に「馳走を運んであげる」、みんな満腹になる。仏

『長い箸』の活用法

釧路市教育委員会 学校教育部長 高木 亨

教育委員会では教育懇談会の開催、コミュニティ・スクールの推進、子ども育成会との連携、地域見守り安全マップづくり、土曜活動による学校の地域公開など、様々な事業を通じて地域連携に取り

教説話のひとつです。

これは地域と行政にも通じる教訓です。地域だけ学校だけではできないことは限られます。しかし互いに不足する部分を助け合えば、まちは極楽になります。

組んでいます。また、昨年の「釧路市連合町内会と釧路市との連携基本協定書」の締結の前後に職員に対して町内会への加入促進を一度ならず訴えています。

教育とは、直面する問題を解決する知恵をつけ「長い箸」の活用法を考えつき、それを協力して実現する力をつける（互いに食べさせる）ためのものです。

もちろん我々大人はすでに教育を受けています。連携して課題に取り組むことで、子どもたちに教育を背中で教えてあげようではありませんか。

主な行事予定

4 月 6 日～15 日 新入学期の交通安全運動

4 月 19 日（日）春の全市一斉清掃

5 月 16 日（土）市連町定期総会

※ 次回の連町通信発行は、6 月 25 日です。

赤い羽根
共同募金

連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。